

合掌 新年おめでとうございませう。檀信徒の皆様におかれましては昨年中、護

順境院 日攝

第三十四世



圓頓寺
たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

持護法また菩提寺の隆盛にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。私も旧年以上に、お題目信仰の道場としての当山を、より良くしていく所存でございます。皆様方の篤い信仰心をもってご協力いただけますよう、ご祈念申し上げます。

さて、正月という節目は、新春の靈氣と申しますか、実に荘嚴された大きな力を秘めております。私たちの大方は、この時期になると自然旧年中を振り返り、反省もし、新年に向けて抱負や希望を抱こうとします。

そして、新年の慶びを感じとりませう。

何故私たちは、このような心持をごく普通に生ずることが出来るのでしょうか。それは、正月には「歳神さま」という神様が、「歳魂」という新たな一年の生命と幸福を、それぞれに与え下さるといふ古来よりの信仰があるからなのです。ありがたくも、また新たに一年の命をいただくことが出来るということなのです。言いかえれば、無事に正月を迎えるという事は、自身の命の再生でもあるのです。

だからこそ、正月という尊い節目を迎えるにあたって、心機一転、自らの襟を正し心身を清めることは、当然の営みとなるわけですね。したがって、正月の瑞氣を因と縁とし、無意識であつ

ても大きな節目である正月を大事にするのでしよう。

「極楽百年の修行は穢土の一日の功に及ばず。」
『報恩抄』

日蓮大聖人のお言葉の一節です。私たちが今生を旅立ち、靈山浄土の仏様のもとで百年間もの永い修行をするよりも、末法における今生の一日の修行の功德のほうが勝るのであるという、大意です。また、私たちは、何気なく一日一日を費やしてしましますが、たったその短い一日であっても百年の価値を見出し会得することが出来るという、教えでもあります。

正月は、自らの良き誓いを立てるにあたって格好の節目であります。ただ新春

の慶徳は移ろいやすいものでもありません。ぜひ、日蓮大聖人お言葉のごとく正月の余慶をもって新たな一年の命の一日一日を大切に精進していききたいものでもあります。再拜。

法華経と御遺文の学習



お会式で導師を務める住職

「無数の方便をもつて衆生を引導して、諸の著を離れしむ」
『妙法蓮華経方便品第二』
方便品の一節であります。

再拜。

方便品というお経は、法華経二十八品の中でも、特に大切なところでもあります。ですから、寿量品とともに、日常的に拝読するお経でもあります。皆様方も拝読もしくは拝聴されておられるはずですよ。何故に、この方便品が大事であるのでしょうか。この経文の一節に沿って説明してまいります。

法華経以外の全ての経典は、すべからず、唯一で最高の教えである法華経を説くに至るための、仮の教え、つまり方便の教えであると説示されたのであります。智慧も徳も縁も不足するものに、いきなり法華経を教えることが難しい。そこで仏様は、少しずつ浅い簡単な教えからお説きになられました。法華経以外の経典は、法華経に導く方便の教えであるとのことでもあります。

この大事を仏様は、方便品にてお示しになられました。だからこそ、この方便品が古来より大切にあつかわれてきたのであります。つまり、他の経典に執着し、止まってはいけない。唯一真実の法華経を頼りに



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫その他手続代行

井上組

有限会社

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範



ほうろく灸祈祷する住職

しなければ、成仏の直道はないということでありませう。

『佐渡御勸気鈔』

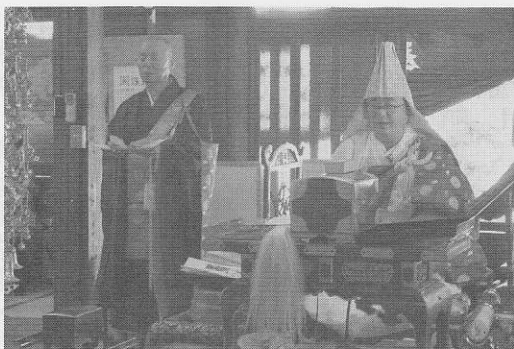
「本より学文し候し事は、
仏教をきはめて仏になり、
恩ある人をもちすけんと思ふ。
仏になる道は、必ず身命をすつるほどの事ありてこそ仏にはなり候らめと、をしはからる。」

日蓮大聖人の御文章の一文です。概要は次のとおりです。

改めて言うまでもないことですが、仏道の修行にとめてきたのは、仏教の奥義を極めて、常に仏道を完成し、様々な恩を受けた人たちが、仏道に到達するよう助けたいと、ひとえに思うからであります。仏道を完成し、成仏をなしとげるためには、自分の身命を顧みることのなき覚悟をもつて法を求めてこそ、はじめて仏道を完成することが出来るものであります。

この御遺文では、仏道修行の厳しさと心構えを、お説きになられております。

仏道を修行するということは、菩薩としての広大氣宇を抛所としなければならぬのです。



お会式の住職と院首上人

自行利他の精神。自らは一生懸命に功德を積み、その功德を自分のためとせず、他に分かつてことです。

不惜身命の精神。法華經の修行のためには、心身の一切を投げうつ強靱な精神を持たなければならぬのです。

大変厳しいお言葉ではありますが、日蓮大聖人は、このような精神で法華經を

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

広める御生涯おくられました。だからこそ、私たちが、今このとき法華経のご縁をいただけておるのです。

年頭に当たり

護持会会長 栗原 辰也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様方にはお家族お揃いで、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

ゆえに、日蓮大聖人への常日頃からの尊崇の気持ちをもって生活していかなければならないのです。

でございました。檀信徒の皆様方と共に哀悼の意を表し、ご冥福を祈念いたしました。

旧年中は皆様方には宗祖初講法要を始め、菩提寺の六大法要、慣例の年中行事、信行会、婦人会等それぞれご多用の中に務められ、護持、護法の興隆に一致結束してご支援、ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。本年も昨年同様、皆様方のおお一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

また、昨年前半は天候不順で、七月には近年にない九州北部豪雨で、菊池川水系の増水被害等受けられました方々に、遅ればせながらお見舞いを申し上げます。本年は平穩無事でありませう願いました次第でございます。身延山法主・内野日総猊下様をお迎えしての、「九州教区御親教」もございました。

昨年を顧みますと、六月には院首・英知上人におかれましては、最愛なる妙教寺のご母堂様がご入滅されました。大変ご残念なこと

さて、私ごとで恐縮でございますが、平成二十四年秋の叙勲発表に際し、凶らずも『旭日双光章』受章の栄に浴しましたところ、早速菩提寺護持会役員の皆様方より懇篤な祝宴を頂戴いたしました。誠にありがと



祝賀会の栗原会長ご夫妻

熊本日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ

(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦

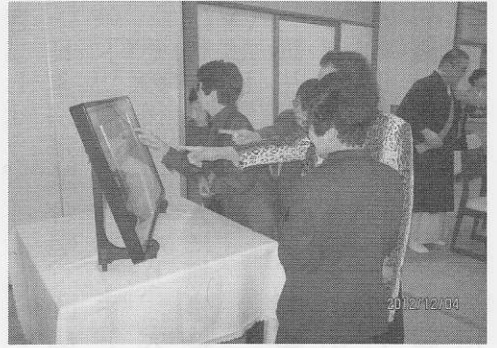
☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

うございました。これも偏に、永年に亘り皆様方の温かいご指導、ご鞭撻、ご支援のおかげと心より感謝申し上げます。次第でございます。今後は、この榮譽に恥じないよう一層の精進をいたしまして、微力なりとも地域社会に、護持会興隆に貢献する所存でございますので、今後ともご芳情賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年もこれから



「ま～立派な章だこと」



一字一石写経する原副会長（左）

護持会副会長 原 文雄

十月四日、第三十九回日蓮宗熊本県護法大会天草地区大会が、大矢野町体育館で開催され、圓頓寺から二十名が参加致しました。

県護法大会に参加して

一段と寒さ厳しい時節を迎えます。皆様方にはご自愛いただきまますと共に、ご家族皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。合掌

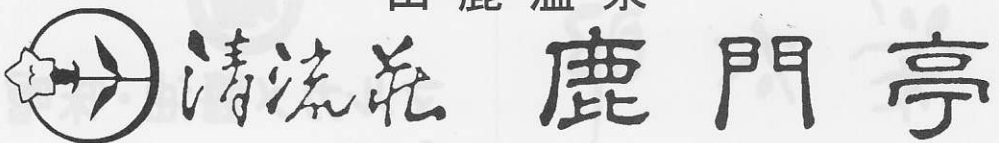
初めに東日本復興祈念法要がありました。

高座説教で、千葉県小湊両親閣妙蓮寺「上村貞雄上人」のお話がありました。妙蓮寺の墓地には日蓮大聖人のご両親のお墓があり、しっかりとお守りをしていくということでした。

護法大会での雅楽法要で、県下のお題目信仰に生きる聖徒が一堂に集い、「お題目を世界に広めよう。」「この寂光土を築きましょう。」「命に合掌しましょう。」を合言葉に、世界平和を願い、日蓮大聖人御生誕八百年慶讃に向け、共に頑張っている

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
 ファックス (0968) 43-5153



きましよう。
 日蓮宗宗歌合唱、団扇太鼓で和讃演奏等もありました。その後閉会となり、大会は厳粛かつ盛大に無事終了いたしました。
 護法大会終了後、圓頓寺の聖徒団は天草温泉のホテル「松竜園海星」に宿泊し、懇親を深め、有意義な護法大会でした。護法大会に参

加された檀信徒の皆様、お疲れさまでした。

私は、圓頓寺護持会の会計担当として、護持会会費の納入のご協力に心から感謝申し上げます。「圓頓

年頭のご挨拶

婦人会会長 瀬口ミス子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。檀信徒・婦人会の皆様のご家族のご健勝をお祈りいたします。

年間の六大法要「奉仕地区」の皆様にはお忙しい中、

寺は我々檀信徒のものである。」ということを改めてご認識いただき、檀那寺興隆にお力をいただきますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

南無妙法蓮華經

毎回ご参加をいただき大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

恵子坊守様には、各法要や婦人会・信行会の行事のおときの献立や準備等温かい心遣いをいただきました。ありがとうございます。

だんだんと齢を重ねますと物忘れ、家族の介護、また自分が家族の手助けを受けるようになります。健康が一番大事と思いますので、「南無妙法蓮華經」とお題

和食亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌
 灯笼シヨトシヨ

山鹿市中1000-2
 ☎44-3131



信行会会長 木下美枝子

信行会からのご挨拶

目を唱え、六大法要や除夜の鐘と新年祝祷会、寒修行、毎月二十八日の信行会、年二回の合同大掃除、清正公頓写会での写経など、ご先祖供養でお寺にお参りしますと、幸せになると思いますので、皆様お参りいたしましたしよう。

去年は、身延山法主・内野日総猊下様をお迎えして、「九州教区御親教」が行われました。生まれて初めてというくらい、ありがたい一年になりました。本年も色々な法要・行事がございますので、何卒よろしく願ひ申し上げます。婦人会は人数が減少し、高齢化してきています。婦人会への入会をお勧め申し上げます。新年のご挨拶といたします。

南無妙法蓮華經

明けましておめでとうございませう。

圓頓寺檀信徒の皆様、お健やかに己年の幕開けをお迎えのことと存じます。いつも、多くの行事に皆様のご協力をいただき、大禍なく過ごすことが出来感謝いたしております。



昨年は、護法大会が天草で開催されましたので、一泊して親睦を深めようと総代さん方も全員参加で、本当に良い懇親の場を持てたのではないかと思います。護法大会は年一回、熊本県中の信徒が集う場です。担当地区のご寺院はいろいろと催しを考え、大勢のお上人様方も出仕して盛大に法

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

私事ですが、昨年二月より右ヒザが悪くなり、正座が全く出来なくなりました。



高座説教を聴く皆さん

要があります。その後高座説教で良い講話をして下さいました。「今自分がいることを考え、何とほなしに日を過ごしてはいけない。生かされている意味を考えよう。」とお話し下さいました。

ずっと治療に通院していましたが、思うように身体が動きません。何で？と不足不満が先に出ています。今回の法話で脳天を打たれた感じです。毎朝不様な恰好で仏前に手を合わせています。反省いたします。座ることのみ出来ないで、歩くのは不自由はいたしません。あっちこつちと出かけられます。感謝して手を合わせます。十一月十六日には、身延山久遠寺から法主様が、九州教区へ御親教にお出でになりました。今まで身延山の法主様が立正安国お題目結縁運動で、九州まで来られたことは無いと思います。法主様はお元気です。東日本大震災の被災地へも行かれたし、ハワイ開教百周年・ハワイ日蓮宗寺院創立百周年記念にもご出席で、

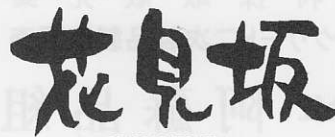
ハワイの各所で法要を務めておられます。ご高齢でしように凄いいパワーと思いませんか？
法主様導師のもと、会場一杯の信徒と一緒に法要が盛大に務められました。参加できたことに感謝でした。人は決して一人では生きていけません。国の内外を問わず、世界中の人々と関わり合って生きています。また多くの命の犠牲の上に自分たちの命をつないでいます。つまり種々の生命に感謝することこそ、まさに「共生共栄に栄える」立正安国実現四表の静謐（せいめい、せいの）（世の中がおだやかに治まること。）です。「共生共栄」としたためられた色紙をいただきました。分かっていること、改めて解説されれば胸に響く

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処



HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

言葉です。額に入れ日々思
いを新たにいたしておりま
す。



御親教：本堂一杯の檀信徒

十一月二十〇、二十一日は、
教区の研修道場が佐世保で
あり、瀬口さん、伊豆永さ
ん、木下三名で参加いたし
ました。高速バス往復で、
荷物を持って移動するのが
大変ですが、良い勉強をさ
せていただきました。タク
シーで本興寺（大きなお寺
でした）着。本堂一杯の信
徒です。荷物と靴をいれた

袋を持ちこみ、本堂の真中
のお祖師様の前に熊本県信
徒が陣どり、開講を待ちま
した。開講式、法要があり、
教区长、宗務院、本興寺ご
住職様方のご挨拶がありま
した。

第一講・高座説教は、静
岡県富士市の平野譲山僧正
でした。竜の口法難を物語
的に話され、引き込まれて
しまい、途中書き留めてお
きたいことも多々あったの
に……。「人生には終わり
がある。だから今日一日を
大切に生きよう。」とて
もとても良い法話で感動し
たのに、お伝えすることが
出来ず残念です。

午後四時から二講として、
講師「田辺鶴瑛」さん
（女性）による話でした。
植物人間となった実母の介
護。今の自分になるまでの

生きざま。そして御主人と
の出会い、結婚、子育ての
中の義母の介護三年、その
時から講師になるために
勉強。苦勞を話されました。
自分が体験した介護のこと
を講談にして聞いてもらえ
るようになった時、またま
た爺ちゃんの在宅介護になっ
てしまい、娘さんも大きく
なって居られて、共に介護・
会話の様子、爺ちゃんの具
合等をDVDで撮り、放映
しながらの話は身近にある
問題だから、笑いながらも
涙しながら引き込まれまし
た。

まだ興奮している処で、
宿泊の「九十九島ホテル」
へ移動です。夕食は懇親会
でしたが、佐世保から出席
の信徒九十名はホテルには
お出でが出来ず、他県から
の信徒百名とお上人様方の

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



法主さま・九州地区御親教

懇親会になりました。二十一日は七時に朝食をいただき、八時十五分朝勤八時三十分より、岩永泰賢上人の法話でした。人は産湯も末期の水も、死んだ時のお棺のフタのクギも、他の人にお世話にならないければ終わらないことを、充分分からなくてはいけない。命をありがとう、お父さん、お母さん、命をありがとう。私を支えてくれた人たちあ

りがとう。宗門運動である「いのちに合掌」。合掌の似合う人になりたい。と思つた研修道場でした。

長くなりました。毎年管区、教区、そして中央と研修の場があります。分かっている心算が知らなかったり、全く分かっていなかった等気付かされます。ぜひ皆様とご一緒に参加したいと思つていきます。よろしくお願ひいたします。合掌

涙があふれたお題目

山鹿市昭和町 鹿子木リツ子

平成二十四年十一月十六日の佳き日に福岡市で開催されました、身延山法主「内野日総猊下」様をお迎えしての、「九州教区御親

教」へ圓頓寺様より参加のお誘いを賜り、誠に誠にありがとうございました。

私は、圓頓寺様とは四十年來のご縁がございました。途中生きてゆくのにいろんな試練に耐えることが出来ずに、寺離れをしてしまいました。このような私に法主様九州教区御親教に参加のお誘いいただき、お許しを賜り、ひとえに感謝申し上げる次第でございます。更なる試練を乗り越え、巡りに巡って行き着いた所は、やはり圓頓寺様。そしてお題目の信仰でした。お題目は真の信仰だと充分認識しておりましたが、寄り道をしてしまった自分の愚かさに、深く反省している。今日この頃でございます。福岡市まで行く車中、久しぶりに旅行にでも行って



株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771 Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 http://www.assist-kumamoto.jp

いるかのように会話もはずみ、いろんな面でも勉強させていただきました。初めての総代様・婦人会・信行会の方々とのお参りに参加させていただき、勝手も良く分からない部分もたくさんあり、皆様方には大変お世話になりました。

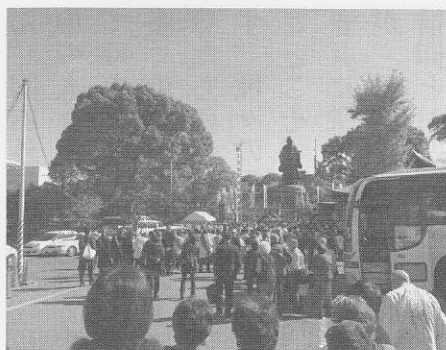


福岡市「日蓮聖人銅像護持教会」に到着して一番に眼に入ってきたのは、日蓮大聖人様の銅像でした。大

変大きな立派な銅像に驚きました。ご参加の皆様と銅像に上がる階段をひと足ひと足踏みしめながら、坊守様の説明に耳を傾け、只々うなずくばかりでした。

立正安国論という意味は、共生共栄「汝すべからく一身に身の安堵を思わば、まづ四表の静謐を祈るべきものか」という御教示に、改めて日蓮聖人様の偉大さに感銘させられました。

やがて御親教が始まり、法主様そして大勢の僧侶様の中には十五才という若さの修行僧の方もいらつしやいました。心打たれました。きつと将来立派な僧侶様になられることでしょうか。お題目がいつせいに唱えられ、本堂に響き渡り、私はジーンと胸が熱くなり、涙があふれてきました。「感動す



御親教：大聖人像前の檀信徒

る人間より、感動を与える人になれ。」という述言を耳にしたことがあります。まさに感動の時を下さいました。ありがとうございます。

仏様がいつの日も私たちを見守っていて下さることを信じ、感謝し、お題目を心の糧として命のある限り、日々精進努力させていたただくことを、ここにお誓いいたします。そして残された人生を後悔のない、輝ける

盛文社印刷
有限会社

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

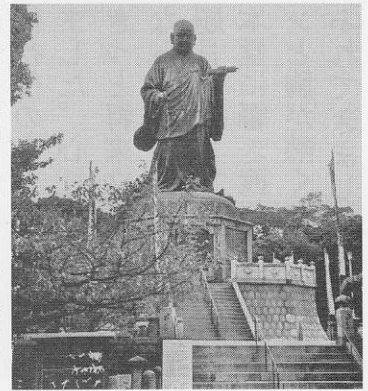
感動を少しでも与えられる人になって生きたいと思えます。本日は誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。 合掌

お逢いできて幸運



山鹿市鹿校通 東島 広子

晴天に恵まれ、紅葉が美しい十一月十六日、日蓮宗総本山「身延山・久遠寺第九十二世法主、内野日総猊下」をお迎えして、福岡市の「日蓮聖人銅像護持教会」において九州教区御親教が開催され、圓頓寺から坊守



様始め檀信徒八名で参加させていただけました。

「立正安国お題目結縁」運動で、身延から九州へお越しになるのは初めてです。うで、お顔を拝し、御親教の法要でお声を拝聴出来たことは、この上なく幸運で、感激いたしました。

御親教は、「内野日総猊下」を大導師に、開経偈、妙法蓮華経方便品第二、妙法蓮華経如来寿量品第十六、自我偈を、内野日総猊下と参加者全員で唱和しました。まさに身が震えるような感

動を覚えました。ありがたいことでした。

続いて、久遠寺布教部長「吉村明悦」僧正により、御代講がございました。

「内野日総猊下」は、平安時代から続く「南部家」の末裔で、南部家の歴史を見てみますと、南北朝から戦国時代にかけて勢力を伸ばしています。家系図も拝見させていただきました。

法華経の教えは、私たちは一人では生きてゆけません。国内外を問わず、世界中の人々と関り合って生きてゆきます。そればかりか多くの生命の犠牲の上に自分たちの命をつないでいます。種々の生命に感謝することこそ、まさに「共に生き共に栄える」「共生共栄」が、日蓮大聖人様の教え、信仰とお題目、ありがたい



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail umetani@umetani-jp.com

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>



清正公祥当忌と頓写会

婦人会事務局長 伊豆永京子

明けましておめでとうございませう。檀信徒・婦人会の皆様、昨年は大変お世話になりました。本年もご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

お言葉でした。福岡市での開催でありましたが、院首・英知上人様の配慮で、前の方の席で申し分ない席を用意していただきました。カメラを持っていかなくなったことを後悔しました。都合で参加できなかった方々に写真でも見せてあげたかったと思います。悔やまれました。法主さまの御親教に巡り会えたことに、感謝！感謝！でございます。ありがとうございます。

用語の意味

法主さま 総本山・身延山久遠寺の住職を「法主さま」と呼びびしています。

御親教 法主さまが直接言葉をかけて説いて下さることを「御親教」と称されています。

祝下 各宗の管長の敬称。

注：福岡市・妙典寺の副住職様のブログを引用いたしました。

ございました。合掌

圓頓寺の六大法要ではありませんが、婦人会・信行会の大事な年中行事なっている「頓写会」のことを私は詳しく知りませんでしたので、本当のことを知りたいたいと思い、少しでも勉強させていただきました。本妙寺の数多い法要・年中行事の中で特に大事な行事は、大祭にもなっている「頓写会」です。

加藤清正公は、熱烈な日蓮宗の信者でありました。その御霊が祀られる肥後・本妙寺を中心に、神格化された清正公への信仰が形成され、日蓮宗檀信徒のみならず一般の人も『せいしよこさん』として、崇敬の念が込められています。平和を願う偉大な人だった加藤清正公が没した翌年の一周忌にあたり、本妙寺

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 ワールド観光

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

第三世日遙上人が報恩の気持ちを含めて、追善のため「法華経一部八巻」六万九千三百八十四文字の写経をされ、翌年の三回忌には一山の僧侶たちが日遙上人を助けて、二十三日の祥当逮夜（前夜）に法華経全巻の写経を終わることが出来ました。それ以来、これが清正公祥当忌の恒例の法要、当忌が法華経を頓写する法会であることから、『頓写会』と呼ぶようになったと言われているそうです。

圓頓寺でも、毎年写経をしています。写経することを圓頓寺に申し込み、写経する用紙をいただいで、みんな心をこめて写経しています。皆さんが書写された写経を、七月二十三日の夜巻物にして奉納されます。奉納は、写経された巻物

を捧げ持ったお上人を先頭に、信奉者としてお上人さん達と、団扇太鼓でお題目を唱和する檀信徒が続きます。清正公の墓所である『浄池廟』に到着、大法要が執り行われます。

頓写会の夜は、近郷・近在、県内外から、所願成就を祈る参詣者がつめかけ、新聞・テレビでも報道され、夜を徹して賑わいを見せ、この日は夏祭りで衣替えと



婦人会会計 伊藤千恵子

写経と頓写会

なり、山鹿の祇園祭の初帷子と似ています。

大自然の静かな佇まいの中で、今も生き続ける素朴な信仰に心魅かれ、遠い祖先の日々の営みが偲ばれ、心も引き締めまり、頓写の一字一字に感謝し、今生きている、生かされている心の仏に出逢えたら、きつときつと幸せが来ると信じています。南無妙法蓮華経

写経とは、法華経を書き出す信行です。

七月二十三日に行われる熊本市花園・本妙寺の行事、「頓写会」の法要に参加するため、写経に必要なものを菩提寺・圓頓寺へ申し込み、とりまとめて日蓮宗青

着付・婚礼

サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277

年会からいただきます。

本日の作法は硯に墨をすり、心落ち着かせ、毛筆小筆で書くのですが、最近はお私のように筆ペンの人もいるようです。仏壇の前に机を置き、灯明、ローソク、線香をつけて、心静かにし、呼吸がかからないように同封の和紙を口にくわえて書き始めます。法華經の教えにより、人生のあり方を処し、お題目の信仰を我が家の柱として、年に一回のことですが、私にとつては大切な修行の時期であります。また大事なことは、一度写経したお経を、心を落ち着かせ見直すことだと思いません。

この写経した用紙を、お上人様が本妙寺に奉納され、みんなが写経した用紙を番号順に巻物にされます。巻

物にされた写経は、七月二十三日の清正公ご入滅法要「頓写会」当日、本妙寺大本堂を出発し、写経修行に参加された二百名の聖徒の皆様と、お題目を唱えながら、山道や急勾配の石段（通称「むなつきがんぎ」）を行脚し、ご廟所まで団扇太鼓をたたきながら、頓写会行列が続きます。参加のお上人様や信者の方々は、酷暑の中汗びつしよりです。拜み所の拜殿では、お上人様方が中央に二列に座られ、

お会式法要・山鹿氏一族も供養

編集委員 大瀬 和江

日蓮大聖人の七百三十二年遠忌の法要が、秋晴れのさわやかなお天気のお十月十三日、奉修されました。この日は毎年身延山のお会式

大太鼓、お経で法要が始まります。本殿の外は、老若男女十数万の人出で大にぎわいです。若い女の子は浴衣姿の人も多かつたようです。

私たちの写経が、皆様のおかげで奉納されましたこと、御礼申し上げます。皆様も写経をし、頓写会に参加しませんか。合掌

注：頓速やかに写し法華經を写す会法会

桜に負けない、檀信徒が奉納されたそれは見事なコスモスの花が、本堂ご宝前と檀信徒会館に飾られ、秋まつ盛りを感じます。

三々五々本堂に上がられた方はまず受付をし、お会



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
仕出部 ☎ 44-5804

式桜をいただかれていました。時間になり半鐘がたたかれ、団扇太鼓とお題目で湯前町「栄立寺ご住職・村井信照上人」をお迎えし、法話が始まりました。村井上人は日蓮宗靈断師会の一員、日伝導特派講師であられ、圓頓寺ともご縁の深いお上人で、現在圓頓寺の顧問をされている、元護持会会長鬼木さんの甥子さんの子供



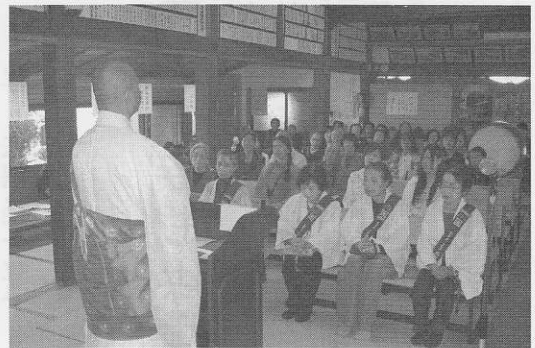
さんになられます。

村井上人は、俱生靈神符（月お守）のご利益のお話で、心素直にお題目を唱え、お守りを身に付けていることで、出合いの導きがあること。栄立寺でのエアロビクスの先生との出合いを例にあげ、お話されました。



村井上人の法話

次に「感謝」の心についての話でした。日蓮大聖人、ご先祖様、仏様、すべての人に感謝すること。人は、他人には感謝の気持ちを求めるが、いざ、自分ではなかなか感謝は出来ているように出来ていないもの。目



法話を聴く檀信徒

上の人に感謝する常識はあっても、目下の人・自分の子供などに感謝することはむずかしい。振り返ってみて、自分は感謝できていると思っている人ほど感謝は出来ていなくて、出来ていないと思っている人の方が、実は感謝が出来ている。自分から感謝する気持ちを持ち、自分が先に感謝する。そうすれば、すべて



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

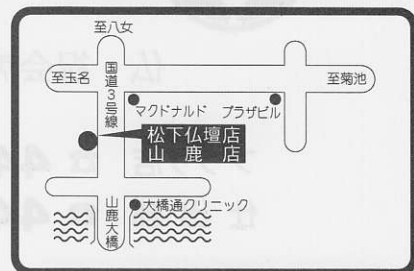
玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします



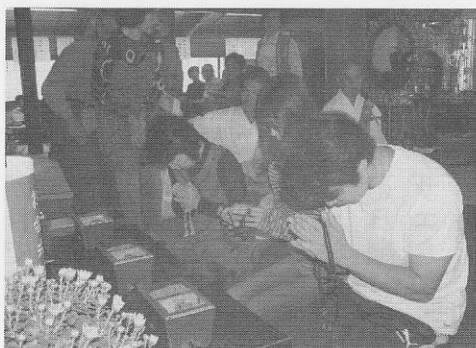


山鹿氏一族を供養する参詣者 ①

「悪を転じて良となす」。「毒薬を変じて良薬となる」という妙法の教えで、法華經の極意だそうです。

法話終了後休憩をはさんで、住職・英人上人を導師に、院首・英知上人、秋吉上人、村井上人、福山上人、高野上人、松尾上人の七名のご出仕で、力強く、厳そかにお会式法要と先祖供養が奉修されました。

圓頓寺が建つ一帯は、旧



山鹿氏一族を供養する参詣者 ②

「山鹿城跡」で、山鹿城主「山鹿重安」公一族を供養した位牌と、圓頓寺たより前号（第六十二号）で紹介された、本堂中央天井の龍神図を描いた絵師「狩野洞容寿信」の毘沙門天絵図板牌（二十二ページをご参照ください）などがご開帳され、四百二十五年忌にあたり山鹿氏一族の供養法要も行われ、参詣の檀信徒全員が焼香し合掌していました

が、焼香者が多く時間がかかっていましたので、役員さんが焼香後のお上人へのお辞儀をせずに退席するよう、促しておられました。

参詣の檀信徒の皆様も一緒にお題目を唱え、日蓮大聖人様、ご先祖様、山鹿氏一族にきつと報恩（感謝）の気持ちが届いたことでしょう。

合掌

「子供福引」
今年が一番！
とてもうれしかった

小学一年生 いざわいっしん
ぼくは熊本市内に住んでいます。今年で三回目になると思いますが毎年五月三日は、山鹿の圓頓寺にお父さんと姉ちゃんのせんじゅ

この街と生きていく
face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

去年は子供福引のジャンケンで二番目でした。とてもくやしかったけど、お姉



子供福引 右：井沢君、左：山本君

と三人でお参りにきています。お姉ちゃんは五回目だそうです。福引がとても楽しくていつもどきどきです。となりにいるおっちゃん(すみません、福岡県の大安寺の秋吉英守ご上人です)と遊ぶのもとても楽しいです。

お父さんとお母さんとお姉ちゃんみんなでサザエさんとジャンケンしています。練習の成果ができました。ほんとうに今年が一番でした。お父さんにも「良かったね」って言われてとても嬉しかったです。でも一番嬉しかったのは、いっぱいお菓子をもらったことでした。その日のうちに全部食べてしまいました。

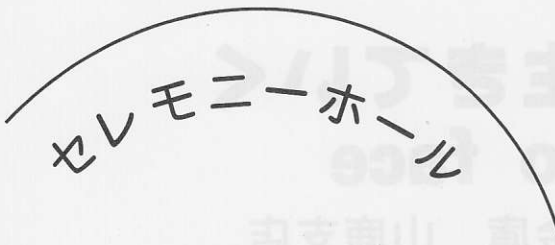
ちゃんは一回目で負けてぼくは二回勝ちました。今年絶対が一番になるぞと気合を入れて来ました。お父さんに「今年は負けるなよ」とお尻をたたかれてジャンケンに挑みました。勝てる気がしました。なんでもかと言うと、毎週日曜日のテレビ番組「サザエさん」の最後でじゃんけんをして、負けないからです。



ほうろく灸で頭痛封じを祈る

行事スナップ

また来年もみんなで圓頓寺にお参りに来たいです。また一番になれるようにサザエさんと練習をしておきます。
(注：いざわいつしん君の文章をお父さんが清書されました。)



セレモニーホール

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948 よい れいきゅうしゃ

山鹿
天龍会館

TEL (0968) 44-0444



お盆お施餓鬼法要：お題目を唱える檀信徒



お盆お施餓鬼法要：竹下上人の法話



栗原会長ご夫妻と歓談する住職・院首



栗原会長叙勲受章祝賀会



荒神大祭：お題目を唱える檀信徒



荒神大祭：お題目を唱える檀信徒



お焚き上げ祈禱する住職



荒神大祭・竹下上人の法話

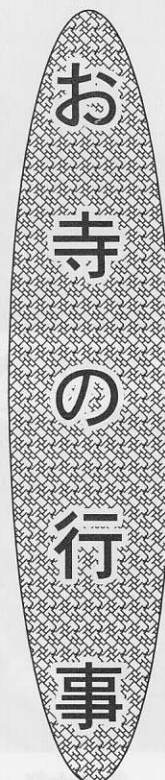
平成十七年度～平成三十四年度
りっしょうあんこく

立正安国

だ い も く け ち え ん

お題目結縁運動

日蓮宗



一月十三日(日)

日蓮大聖人報恩
午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

二月三日(日) 午前十時

開運 節分析禱会

除災招福・星祭祈禱

一月二十日

九日間・夜七時
日蓮大聖人報恩

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

二月十六日(土) 午前十時

宗祖降誕会

御誕生をお祝する日

三月二十八日(木) 午前十時

鬼子母神祭 彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

輪番おとぎ、掃除当番地区表

本年度の輪番おとぎ、掃除当番地区は次の通りです。
該当々番地区の皆様のご支援と御協力をお願い申し上げます。

山鹿市										鹿本町				市町名
霊仙	志々岐	鹿校通	熊入町	熊入町	大宮町	大宮町	堀明町	小柳	来民	来民	来民	来民	町名	
西川	坂梨	高松	塚本	井上	阿蘇	阿蘇	永溝	西山	白石	福山	高森	地区総代名		
信子	益樹	進次	英治	弘二	欣友	法子	征夫	四郎	欽元	年春	人員			
11	6	7	5	8	7	7	8	1	3	1	7	4		

3月28日(木) 鬼子母神祭

山鹿市			鹿本町		鹿北町					市町名					
小原	桜町	桜村	中庭	東通	須屋	小川	麻生	福原	中津川	陣内	町名				
大津山	荒木	松本	鬼木	原口	鶴川	黒田	藤本	浦田	川上	野中	地区総代名				
博行	久直	哲次	信次	利博	蒼生	文明	一光	健吾	光男	西牟田	人員				
5	4	3	3	16	5	10	1	4	3	1	17	5	4	5	13

1月13日(日) 初講会

山鹿市										和水町			市町名
大宮通	平小城	温泉中	花見坂	温泉	上広	栄町	大橋	太田	岩	岩	岩	町名	
単独配布	井上	瀬口	瀬口	藤本	中原	古家	古閑	中畑	横手	徳永	地区総代名		
敏幸	アヤ子	アミ子	配布	俊範	康一	由治	修昇	精司	克己	人員			
7	7	9	2	2	1	4	5	10	4	4	3		

7月22日(月) 施餓鬼会

全地区		6月		山鹿市			鹿北町		植木町		市町名					
総代	世話人役員 檀信徒合同奉仕	婦人会	長坂	宮宛	石	日吉	松坂	栗林	原	下米	岩原	岩原	寺木	一木	豊田	町名
檀信徒合同奉仕	星子	井上	山下	坂本	島田	賀与子	単独配布	谷梨	原	栗原	丸山	前田	菊川	洋子	地区総代名	
和寿	勝介	和子	二子	二郎	子	太郎	美子	文雄	秀夫	博士	玲子	洋子	人員			
30	2	2	2	4	6	4	3	2	5	4	1	2	2			

5月3日(祝日) 大黒天祭

全地区		山鹿市										市町名		
総代	世話人役員 檀信徒合同奉仕	栗林	桜町	桜村	八之峰	久原	古閑	方保	方保	藤井	石	石	杉	町名
檀信徒合同奉仕	佐藤	単独配布	伊藤	清島	城田	小野	野満	永木	石村	池田	吉田	池田	地区総代名	
矩敏	布	千恵子	智昭	ケイ子	睦子	三雄	カチコ	一市	範雄	晴司	誠一	人員		
6	3	1	4	1	5	2	2	2	7	5	6			

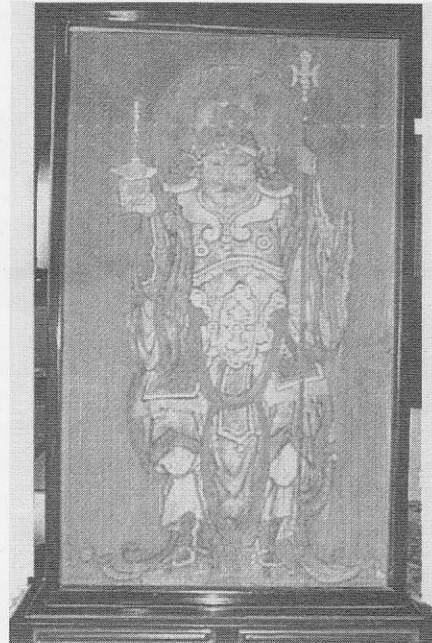
12月8日(日) 荒神大祭

南関町		和水町		山鹿市					菊鹿町			鹿本町		市町名								
上坂	江田	久津野	下津原	西上	上町	九日	下町	上町	鹿校通④	鹿校通③	鹿校通②	鹿校通①	古閑	山の井	山の井	深瀬	郷原	三井原	上高橋	中川	中富	町名
上田	上村	川原	坂梨	中原	吉田	尾石	緒方	単独個人参加	単独個人参加	田中寛次郎	牧野	古閑丸	鶴川	長野	栗原	栗原	吉里	石原	中島	小材	地区総代名	
常人	順一	由美	助	龍也	知子	カ子	俊作	加郎	盛道	盛道	悦男	義一	宏	次博	富美	豊	信	雄	人員			
3	3	5	3	3	4	10	6	3	4	5	4	4	3	7	5	2	6	1	1	2	2	

10月13日(日) 御会式法要



山鹿城主山鹿重安
供養石碑



毘沙門天板碑
狩野洞容寿信

圓頓寺が建つ地は旧山鹿城跡で、城主「山鹿重安」公の遺徳を偲び供養する位牌、狩野洞容寿信の毘沙門天絵図板牌などが寺宝として祀られています。

発行所

山鹿城趾

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三一二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三三七八二ハ

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp